

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社 中京医薬品
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoyiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山田 正行
 (氏名) 辻村 誠

TEL 0569-29-0202

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,710	△9.0	94	△31.1	102	△29.4	45	52.1
23年3月期第1四半期	1,880	△12.1	137	△11.0	145	△9.6	30	△62.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.54	—
23年3月期第1四半期	2.98	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年3月期第1四半期	5,550	—	2,269	—	40.9	—	224.70	
23年3月期	5,296	—	2,239	—	42.3	—	221.73	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,269百万円 23年3月期 2,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,410	△3.6	150	△19.4	160	△20.4	70	70.7	6.93
通期	6,750	0.7	240	△0.8	260	△1.9	120	313.8	10.89

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	10,785,734 株	23年3月期	11,385,734 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	696,928 株	23年3月期	1,286,928 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,098,806 株	23年3月期1Q	10,099,021 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続き対象外であり、この決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、3月の東日本大震災の影響により急速に落ち込んだものの、その後はサプライチェーンの復旧に伴い鉱工業生産が増加に転じるなど、持ち直しの動きが出てきております。しかし、昨年より続いた企業収益の回復は、震災の影響に加え、円高や原油をはじめとした国際商品市況の高騰を受けて、回復ペースが緩やかとなり、景気は弱々しく先行き不透明な状態となっております。

このような環境の中で、当社は顧客満足度の向上を営業の現場でしっかり根付かせ、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すとともに、昨年度見直した中期計画においてCSRの理念を明文化いたしました。また皆様方からより愛され、より親しまれる企業となることを目的とし、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と経営基盤の強化にも取り組みました。しかし景気の低迷、営業所の減少や新規採用の抑制などによる人員減などが重なり、売上高は昨年同期比で減少いたしました。またそれに伴い営業利益、経常利益も減少しましたが、四半期純利益は法人税額の負担が減少したことにより昨年同期比で増加となりました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,710百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は94百万円（前年同期比31.1%減）、経常利益は102百万円（前年同期比29.4%減）、また四半期純利益は45百万円（前年同期比52.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）におきましては、昨年度集中的に営業所の統廃合と売上実績がない顧客からの救急箱の引き上げ等の改革を行いました。景気低迷や新規採用の抑制等による人員減も重なり、売上高は大幅減少となりました。また営業効率は改善し販売費及び一般管理費の削減効果はありましたが、セグメント利益も前期に比べ減少となりました。その結果売上高は1,604百万円（前期同期比10.1%減）、セグメント利益93百万円（前期同期比24.8%減）となりました。

②売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。よって供給力の大幅向上のため新工場を建設し稼働を開始いたしました。その結果売上高は102百万円（前期同期比9.5%増）、セグメント利益1百万円（前期同期比54.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,638百万円となり、前会計年度末に比べ180百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加127百万円、商品及び製品の増加34百万円によるものであります。固定資産は2,911百万円となり、前会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産その他の増加85百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,550百万円となり、前会計年度末に比べ254百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,954百万円となり、前会計年度末に比べ180百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金の増加88百万円、支払手形及び買掛金の増加71百万円によるものであります。固定負債は1,327百万円となり、前会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加39百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,281百万円となり、前会計年度末に比べ224百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は2,269百万円となり、前会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。これは主に自己株式の減少255百万円、利益剰余金の減少235百万円によるのもであります。

この結果、自己資本比率は40.9%（前会計年度末は42.3%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月20日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「平成23年3月期決算短信」をご覧ください。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	997,116	1,004,120
受取手形及び売掛金	418,574	545,980
商品及び製品	335,203	369,723
委託商品	447,836	440,882
仕掛品	63	184
原材料及び貯蔵品	19,483	19,660
その他	254,600	271,979
貸倒引当金	△14,840	△13,613
流動資産合計	2,458,038	2,638,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	522,883	515,432
土地	1,713,175	1,713,175
その他（純額）	66,870	67,925
有形固定資産合計	2,302,930	2,296,533
無形固定資産	61,110	57,373
投資その他の資産		
その他	488,350	574,209
貸倒引当金	△14,309	△16,201
投資その他の資産合計	474,040	558,007
固定資産合計	2,838,080	2,911,915
資産合計	5,296,119	5,550,832
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	502,192	574,092
短期借入金	145,000	83,000
1年内返済予定の長期借入金	428,220	434,892
未払法人税等	34,657	75,926
役員退職慰労引当金	24,410	—
訴訟損失引当金	86,340	86,340
賞与引当金	192,000	280,998
返品引当金	4,179	7,480
その他	356,580	411,543
流動負債合計	1,773,579	1,954,273
固定負債		
長期借入金	800,560	839,596
退職給付引当金	138,670	139,818
役員退職慰労引当金	294,160	298,040
資産除去債務	4,253	4,275
その他	45,674	45,578

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
固定負債合計	1,283,319	1,327,308
負債合計	3,056,898	3,281,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	1,992,811	1,757,780
自己株式	△548,245	△292,638
株主資本合計	2,249,630	2,270,206
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,409	△955
評価・換算差額等合計	△10,409	△955
純資産合計	2,239,221	2,269,251
負債純資産合計	5,296,119	5,550,832

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,880,135	1,710,975
売上原価	594,854	587,114
売上総利益	1,285,281	1,123,860
販売費及び一般管理費	1,147,447	1,028,892
営業利益	137,833	94,967
営業外収益		
受取利息	158	133
受取配当金	846	776
受取家賃	5,036	4,476
保険解約返戻金	—	4,251
その他	6,450	2,053
営業外収益合計	12,491	11,691
営業外費用		
支払利息	4,962	4,064
その他	105	0
営業外費用合計	5,068	4,064
経常利益	145,256	102,594
特別損失		
減損損失	22,358	—
投資有価証券評価損	21	11,621
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,310	—
特別損失合計	47,691	11,621
税引前四半期純利益	97,565	90,972
法人税、住民税及び事業税	111,722	72,359
法人税等調整額	△44,284	△27,208
法人税等合計	67,438	45,150
四半期純利益	30,127	45,822

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	1,519,582	261,898	93,647	1,875,129	5,006	1,880,135
計	1,519,582	261,898	93,647	1,875,129	5,006	1,880,135
セグメント利益	122,696	11,100	4,037	137,833	—	137,833

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「小売部門」セグメントにおいて、大分営業所、尾道営業所、郡上八幡営業所、米原営業所及び近江八幡営業所の5営業所において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、22,358千円であります。

II 当第1四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	1,307,108	297,399	102,544	1,707,052	3,922	1,710,975
計	1,307,108	297,399	102,544	1,707,052	3,922	1,710,975
セグメント利益	84,228	8,908	1,831	94,967	—	94,967

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。